

## これからの季節、知っておこう熱中症！

神戸大学大学院医学研究科 内科系講座小児科学分野 こども急性疾患学部門

特命助教 長野智那

春になり暖かい日が多くなってきました。

熱中症は夏の暑い日に運動をしていたり、炎天下に長時間いた時にだけにおこると思  
っていませんか？実際はこのような典型的な場面だけではなく、梅雨の合間の気温が  
上昇した時などにもおきるものです。

身体が暑さに慣れてきていない時期にはなおさら注意が必要です。

本日の講演では、どのように熱中症がおきるのか？予防はあるのだろうか？実際おき  
たらどうしたらよいのか？について説明します。

## 下痢や嘔吐！家で何ができる？どんな時に受診が必要？

神戸大学大学院医学研究科 内科系講座小児科学分野 こども急性疾患学部門

特命教授 野津寛大

下痢や嘔吐の原因はそのほとんどがウイルス性の感染性胃腸炎です。ほぼ毎年、冬期  
にはこども達の間で大流行します。原因ウイルスで有名なものがノロウイルス、ロタ  
ウイルス、アデノウイルスです。これらは、便や嘔吐物から感染します。特に嘔吐物  
中のウイルスは空中に飛散し、その強い感染力のため同じ部屋にいるこども達には容  
易に感染します。

下痢や嘔吐で問題となるのは脱水症です。しかし、発症後すぐに脱水症にはなりません。  
下痢や嘔吐の症状を抑える即効性のある薬はありませんが、嘔吐症のほとんどが  
発症後数時間で症状が消失します。そのため、感染性胃腸炎にかかっても、本当はほ  
とんどの場合病院受診は必要ありません。

本日の講演ではお子さんが感染性胃腸炎にかかってしまった際の家庭での対処法に付  
きご説明します。